

鹿児島市議会は8日、市立病院のあり方及びJ・T跡地の活用策等に関する調査特別委員会を開き、その中で、6月頃にも施設配置案をまとめるなど今後のスケジュールが示された。

(8面にJ・T跡地活用検討等に係るスケジュールを掲載)

来月にも施設配置素案

鹿児島市議会

市立病院・J・T跡地活用策等調査特別委

J・T跡地活用に関して、企画部が中心となり、今年1月に検討連絡会(関係課長レベル)、施設配置WG(係長レベル)、新施設WG(係長レベル)が設置され、関係課などで内部検討を行ってきた。また、検討委員会が4月27日に設置され、それぞれのWG、連絡会などの意見をフィードバックして検討委員会が意見集約し、反映させたい意向だ。その上で、市立病院や交通局と連携を取りながら、6月頃に施設配置素案、9月頃に施設の配置を決定したい考えだ。

また、6月頃には国土交通省の補助事業である「暮らし・にぎわい再生事業」への20年度事業費概算要求要望(予定)、9月から12月にかけては中心市街地活性化基本計画の国への申請(予定)に向けたスケジュールなども併せて報告された。

今月末頃に第1回会合

鹿児島市立病院

一方、鹿児島市立病院に關しては、新病院の移転・建て替えに係る基本構想・基本計画を策定するために、「鹿児島市立病院基本構想・基本計画策定委員会」(仮称)を9月頃にも設置する。今月末頃には第1回会合を開催する予定だ。

同委員会は、病院長を委員長に約15人の委員で構成、月に1回程度委員会を開き、来年1月をもちに基本構想・基本計画案を作成する。その後、パブリックコメント手続を経て、年度内に基本構想・基本計画を策定する予定。

このほか、病院の各種計画作成に關しては、コンサルタンに基本構想等の素案作成などを業務を全面実施する。

1億円以上に一般競争

防衛施設庁

防衛施設庁は本年度、1億円以上の工事に一般競争入札を適用する。総合評価落札方式による工事の調達割合は金額ベースで4割以上とする。設計・調査業務の成果品と工事関係図書電子納品を全面実施する。

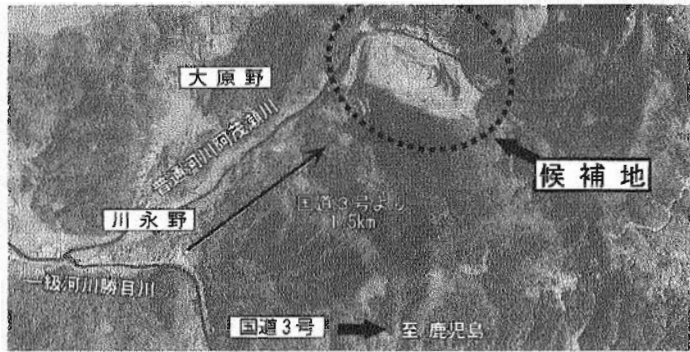
2面に民間工事ニューズ

「平成19年度において防衛施設庁が達成すべき目標」の中に盛り込んだ。前年度の目標は①2億円以上の工事で一般競争入札の割合は5割以上②300万円以上の設計業務成果品500万円以上の調査業務成果品5000万円以上の工事関係図書を電子納品とになっていた。その基盤づくりも大人に課された責務である。

県、産廃処分場候補地選定

薩摩川永野地区

県は8日、公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場の候補地に薩摩川内市川永野地区を選定したと発表した。同日の定例記者会見で伊藤祐一郎知事は、「処分場整備で懸念される各種問題についてもほぼ対応できると判断した。住民等に対して十分な説明を行い、地元の意向や県議会等での議論も踏まえ、最終的に候補地として決定したい」と今後の方針を述べた。県では住民の合意が得られ次第、環境アセスメントや基本設計等に着手する意向だ。



川永野地区上空写真

候補地は、生コンやアスファルト合材などの建設資材販売を手掛ける(株)ガイアテック(福永重男社長)の採石場で、国道3号から東側約1.5kmの地点。面積は約10haで、埋立容量は50・60万m³。本県における産業廃棄物年間排出量の17年度実績(約4万m³)で計算すると、約15年は利用できる。

伊藤知事は、選定理由について①南九州西回り自動車道・都ICから約5kmとアクセスの利便性が良い②周辺2km以内に活断層がない③用地の確保が容易④農振法や森林法などといった法令による規制がない⑤地質も不透水性岩盤で地下水への浸透も考えられないなどと説明した。

処分場の整備構想では、第3セクター「県環境整備公社」による建設を目指す方針で、総事業費は約70億円、建設期間は5年程度を見込む。なお、産廃処分場としては全国初

霧島市、建築関係発注見通し

浜之市団地B棟3分譲で一般競争

霧島市は、建築関係の19年度公共工事発注見通しを公表した。主なもので、

では、浜之市団地(B棟)を建築、電気、給排水の3分譲により6月までに一般競争入札を執行する。浜之市団地(B棟)の場所は同市準人町真孝。規模はRC造3階建9戸でタイプは3DK。工期は約7カ月間を見込む。また、上井団地(E棟・RC造4階建24戸)、川原団地(E棟・RC造4階建16戸)の外壁改修を計画、今夏にも一般競争入札で発注する予定だ。(6面に発注見通しを掲載)

「けんぴつ」

「大きくならなりたい」。

第一生命保険が全国の幼・児童を対象に行ったアンケート調査。その中で男の子が就きたい職業は、海外で活躍する日本人選手の影響もあって、野球選手が3年連続でトップとなった▼人気職種の中で、毎回上位にランクされていた「大工さん」の存在が気にかかる。ここの数年、常にベースボール入りにしているにもかかわらず、業界は後継者不足の真っ只中。厳しい現実が垣間見える▼「伝統技能を發揮できる現場が少なくなってきた」。建物の洋風化や消費者ニーズの変化等で年々、仕事量が減少し、若者は日常的に「ものづくり」の要素らしさを感じることが失われてしまった。

いわゆる「技能離れ」の要因で、労働条件の悪化もこの実情に追い討ちをかける▼「大人になつたら」。そんな夢を子供たちには持ち続けてほしい。その基盤づくりも大人に課された責務である。

被覆型産廃処分場では全国初

県は、18年5月から候補地の選定に着手。同年10月からは、県内の市町村や民間からも募集した。情報提供があった29カ所(北薩9カ所、南薩7カ所、県央11カ所、大隅2カ所)で現地確認などの各種調査を進めた結果、今回の川永野地区をはじめ、いちき串木野市羽島、蒲生町西浦、肝付町岸良の4地区が最終的な候補地に挙がっていた。

株式会社 ガードシステム鹿児島
本社 鹿児島市新屋敷町26-8(パース通)
電話 099-222-1159(代)
ホームページ http://www.ss-gsk.co.jp

専用コントローラ
複数制御が可能

TERAL

株式会社 テラルキョク
http://www.teral.co.jp

鹿児島支店 電話099-253-4321 FAX099-253-4322

営業種目

- 建設資材部門
異形棒鋼・H形鋼・鋼板・角パイプ・グレーチング
ガードレール・鋼矢板・鋼管杭・コラム加工 他
- セメント部門
普通・高炉セメント・早強セメント・地盤改良剤
無収縮グラウト材・セメント関連商品 他
- コンクリート二次製品部門
ヒューム管・組立マンホール・L型擁壁・側溝
ボックスカルバート・環境製品・ブロック 他
- 環境事業部門
廃棄物の処理及びリサイクル
許可品目: 木くず(解体系・伐根)・紙くず
繊維くず・金属くず・廃プラスチック類

建設資材の総合商社

人づくり、街づくり、夢づくり。

TOSAYA

株式会社 土佐屋

鹿児島市谷山港三丁目4番地8
☎099-262-3111(代)

【営業部】
鹿児島支店 電話099-262-3111
大隅支店 電話099-63-8200
北薩支店 電話099-65-8010
出水支店 電話099-63-8010
本設 電話099-63-8010

【本設】
建設資材部 電話099-262-3111
セメント部 電話099-262-3111
コンクリート製品部 電話099-262-3111
土木工部 電話099-262-3111
水工部 電話099-262-3111
土佐屋リサイクルセンター(霧島市溝辺町) 電話099-64-9000
土佐屋生コンクリート(株)本部 電話099-268-8200